

松谷化学工業株式会社

代表取締役会長 **松谷英次郎氏**
Matsutani Eijiro

でんぷん加工のパイオニア 健康志向で商圏を世界に拡大 「パインファイバー」がモンドセレクション3年連続最高金賞受賞

松谷化学工業は、1919年創業の**でんぷん加工のパイオニア**。リーディングカンパニーとして業界を牽引する。戦後に工業用から食品用にシフトし、現在は大手をはじめ多くの食品メーカーに製品を提供している。創業以来でんぷんの研究開発に努め、88年には特定保健用食品に最大規模で利用されている「**パインファイバー**（難消化性デキストリン）」の開発に成功。食品メーカーなどに提供するほか自社製品としても販売している。代表取締役会長の**松谷英次郎氏**に、創業100周年に向けた今後の事業戦略を聞いた。

—34期連続の増収を続けていますね。業績好調の理由を教えてください。ライフスタイルの多様化に伴い、食生活のニーズも変化しています。手軽でおいしく安全で体に良い食品の開発は、今や食品メーカーにとって生命線です。

天然由来の**でんぷん**には、食感の改良、品質改善など無数の効果があり、食品開発に不可欠な素材となっています。でんぷん加工製品とその分解物である糖化製品の両方を扱う当社では、数百種類のでんぷん製品を製造しており、食品メーカーの幅広い要望を満たすことが可能です。

「企画開発提案を売る」営業

—営業手法にも特徴があるとか。単に素材を売るのではなく、「新商品や新機能の企画開発提案を売る」営業スタイルが基本です。当社の営業マンは研究開発部門と密に連携した“セールス開発技術者”と言えます

す。実際の営業活動では、サンプル食品などを作って顧客に提案します。商品化した際の味や食感、形状を具体的にイメージでき、お客様の採用率もぐんと上がります。最近流行の、もちもち食感のパンなどの食品にも、こうした当社の提案が生かされています。

特保の使用成分で高シェア

—「難消化性デキストリン」にはどのような健康効果があるのでしょうか。

難消化性デキストリンは天然**でんぷん**を原料とした水に溶ける食物繊維の一種で、88年に当社が開発した「**パインファイバー**」の一般名称です。整腸作用や食後の血糖値上昇を抑える効果などがあり、低カロリーで食品に添加しやすいことから、多くの食品メーカーがこれを関与成分とする食品を開発し、特定保健用食品(特保)の許可を得ています。

今年5月現在、特保全体941品目の29%を占め、最大規模で使われています。この難消化性デキストリンの供給でも、当社が市場をリードしており、素材としての食品メーカーへの販



「健康志向が世界的に高まり、予防医学・介護分野の製品がさらに求められることになるでしょう」



2008年・2009年・2010年、モンドセレクション最高金賞(ダイエット及び健康食品部門)を3年連続受賞した「パインファイバー」

にモンドセレクションへの出品を提案したのです。早速、出品したところ、機能性が高く評価され、「ダイエット及び健康食品部門」で08年から3年連続で最高金賞を受賞しています。世界が認める**パインファイバー**として消費者の

易に飲み込めなくなる人が増えるでしょう。当社が開発した素材を料理に混ぜることで、食品の風味を損なわずにそのまま飲み込みやすい料理が出来上がります。高齢化が進む中国、韓国の富裕層はもちろん、団塊世代が高齢化する国内での需要増も期待できます。

—香川大学との産学官協同プロジェクトも進行中と聞いています。

これは、ほぼゼロカロリーで砂糖に近い甘味の希少糖を発見した香川大学と香川県との協同プロジェクトで、合併会社を設立し、事業化に取り組んでいます。研究成果を紹介するテレビ番組を見た私が、今の研究所長に話を聞きに行ってもらったのがきっかけです。実用化一歩手前の段階で、大量生産が可能となれば、メタボや生活習慣病の予防につながる製品になるでしょう。

特に米国では、糖分の多いソフトドリンクや、いわゆるジャンクフードの摂取による肥満や健康被害が社会問題化しつつあります。市場開拓の余地が大きく、私たちは100周年に向け、これから商圏を世界に広げる飛躍のチャンスと考えています。

売を含めた売り上げは現在、約50億円に達します。

機能素材で世界市場を開拓

—世界規模の食品コンテスト、モンドセレクションにも出品されていますね。きっかけと狙いは何ですか。

当社では難消化性デキストリンの「**パインファイバー**」を食品メーカーなどに素材として販売するほか、同名の自社製品として以前から消費者に直接販売しています。しかし、個人向け販売のノウハウに乏しいため、なかなか思うように販売が伸びません。そうした中で06年、ある女性研究員が社長

認知度は徐々に上がりつつあります。—創業100周年に向けた今後の市場戦略についてお聞かせください。

健康志向が世界的に高まり、これからは予防医学・介護分野の製品がますます世界市場で求められます。難消化性デキストリンは米国や欧州の食品メーカーに供給し始めており、今期は米国での販売量が国内を上回る見込みです。今後は米国、欧州、中国、韓国を海外の重点市場とし、難消化性デキストリンの販売先・量の増加に加え、新たな機能製品・素材の提案も強化していく方針です。

たとえば、高齢化に伴い食べ物を容



海外市場の開拓にも力を入れている。写真は2010 Institute of Food Technologists (IFT) Annual Meeting & Food Expo会場の様子



松谷化学工業株式会社

〒664-8508 兵庫県伊丹市北伊丹5-3
TEL.072-771-2010 URL.http://www.matsutani.co.jp/